

ファームウェアリリース 11.2(3)SR1 の Cisco IP Phone 8800 シリーズ マルチプラットフォーム フォーム フォン リリース ノート

初版 : 2019 年 4 月 26 日

はじめに

これらのリリースノート、Cisco IP Phone 8800 シリーズ マルチプラットフォーム電話機実行中の SIP ファームウェアリリース 11.2 (3) SR1 と一緒に使用します。

以下の表に個々の電話の要件を説明します。

Phone	サポートの必要条件
Cisco IP Phone 8800 シリーズ マルチプラットフォーム電話機	BroadSoft BroadWorks 22.0 MetaSphere CFS バージョン 9.4 Asterisk 11.0

関連資料

次の項を使用して、関連情報を取得してください。

Cisco IP Phone 8800 シリーズのマニュアル

お使いの言語およびコール制御システムに該当する資料を参照してください。次のドキュメント URL から参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/ip-phone-8800-series-multiplatform-firmware/tsd-products-support-series-home.html>

新機能および変更された機能

アクティベーションコードのオンボーディング

ネットワークがアクティベーションコードオンボードを使用するように設定されている場合、管理者が生成し、各ユーザに固有の 16 桁のアクティベーションコードを提供します。ユーザがアクティベーションコードを入力すると、電話は自動的に登録します。

アクティベーション コードは一度だけ使用可能で、一定の時間の経過後に有効期限が切れま
す。ユーザが期限切れのコードを入力すると、電話の画面に無効なアクティベーション コー
ドとディスプレイされます。この場合、管理者はユーザに新しいコードを提供します。

この機能では、ユーザが有効なアクティベーションコードを入力するまで電話は登録できない
ため、ネットワークを安全に維持します。

この機能を使用するために既存の電話を変更されます。そうするには、電話機を工場出荷時の
設定にリセットします。工場出荷時にリセットしブートアップすると、ユーザがアクティベー
ション コードを入力すると電話が登録します。

詳細情報の入手先

- *Cisco IP Phone 8800* シリーズ マルチプラットフォーム電話機アドミニストレーションガイ
ド
- *Cisco IP Phone 8800* シリーズ マルチプラットフォーム電話機 *User Guide*
- *Cisco IP Phone 8800* シリーズおよび *Cisco IP Conference Phone 8832* マルチプラットフォー
ムフォンプロビジョニングガイド

過負荷ポイント 9dB の音声パフォーマンス

音声の過負荷ポイントは音響コーデックが過負荷状態になる信号レベルを示しています。G.722
コーデックの9dB過負荷ポイントのオーディオパフォーマンスをサポートする電話機の場合、
Audio_Overload_Point_9dBパラメータを使用して電話機を設定することができます。電
話機の設定ファイルでパラメータを見つけます。デフォルト設定は [いいえ (No)] です。
ETSI 標準を使用する電話機で、g.722 コーデックの9dBの過負荷状態をサポートするために必
要なものである場合は、このパラメータを [はい (Yes)] に設定します。それ以外の場合は、
デフォルト設定を維持します。[いいえ (No)] に設定すると、[オーディオ過負荷 (3.17 dB across)]
は、ナローバンドとワイドバンドの両方について、一貫した電源をネットワークに設定しま
す。

設定例:

```
<!-- Audio Compliance -->
<Compliant_Standard ua="rw">ETSI</Compliant_Standard>
<!-- available options: TIA|ETSI -->
<Audio_Overload_Point_9dB ua="rw">Yes</Audio_Overload_Point_9dB>
<!-- available options: No|Yes -->
```

Audio_Overload_Point_9dBパラメータは、次の電話機で使用できます。

- Cisco IP Phone 8811 マルチプラットフォーム電話機
- Cisco IP Phone 8841 マルチプラットフォーム電話機
- Cisco IP Phone 8851 マルチプラットフォーム電話機
- Cisco IP Phone 8861 マルチプラットフォーム電話機

ファームウェアのアップグレード

Cisco IP Phone 8800 シリーズ マルチプラットフォーム電話機には次の2つのファームウェアイメージを利用できます。

- Cisco IP Phone 8811、8841、8851、および 8861 マルチプラットフォームフォンのファームウェア (音声のみ)
- Cisco IP Phone 8845 および 8865 マルチプラットフォームフォンのファームウェア (ビデオ)

ファームウェア アップグレードが完了すると、電話は自動的にリブートします。

手順

-
- ステップ 1** 次の URL をクリックします。
<https://software.cisco.com/download/home/286311392>
- ステップ 2** 中央のペインで、マルチプラットフォームファームウェアを搭載した **IP Phone 8800 シリーズ** を選択します。
- ステップ 3** お使いの電話モデルを右側のペインで選択します。
- ステップ 4** ディスプレイされる次ページで、**マルチプラットフォーム ファームウェア** を選択します。
- ステップ 5** **最新リリース**で、**11.2.3 MSR1-1** を選択します。
- ステップ 6** (任意) 右ペインのファイル名にマウスポインターを置くと、ファイルの詳細とチェックサム値が表示されます。
- ステップ 7** ファイルのダウンロード:
- Cisco IP Phone 8811、8841、8851、および 8861 マルチプラットフォーム電話機の場合:
cmterm-88 xx. 11-2-3MSR1-1_REL.zip
 - Cisco IP Phone 8845 および 8865 マルチプラットフォーム電話機の場合:
cmterm-8845_65.11-2-3MSR1-1_REL.zip
- ステップ 8** [Accept License Agreement] をクリックします。
- ステップ 9** ファイルを解凍します。
- ステップ 10** 適切な場所は、アップグレードに使用するプロトコルに応じて、ファイルを TFTP、HTTP、または HTTPS ダウンロードフォルダーに置きます。
- ステップ 11** 電話のファームウェアを以下のメソッドのうちの一つでアップグレードします。
- 電話のファームウェアを電話管理 Web ページからアップグレード:
 1. 電話管理の Web ページで、**管理者ログイン > 詳細 > 音声 > プロビジョニングタブ、ファーム アップグレード** セクションに移動します。アップグレードルール値フィールドに、負荷 ファイル URL を以下の記載の通りに入力します。
読み込みファイル URL 形式:

```
<upgrade protocol>://<server ip address>[:<port>]/<path>/<file name>.loads
```

例：

```
https://10.73.10.223/firmware/sip88xx.11-2-3MSR1-1.loads
```

2. [すべての変更を送信 (Submit All Changes)]をクリックします。

- 電話ファームウェアを直接 Web ブラウザからアップグレード:

Web ブラウザのアドレス バーに電話アップグレード URL を以下の記載の通りに入力します。

電話アップグレード URL フォーマット:

```
<phone protocol>://<phone ip address[:port]>/admin/upgrade?<load file URL>
```

負荷 ファイル URL フォーマット:

```
<upgrade protocol>://<server ip address[:<port>]>/<path>/<file name>.loads
```

例：

```
https://10.74.10.225/admin/upgrade?https://10.73.10.223/firmware/sip88xx.11-2-3MSR1-1.loads
```

- (注) <file name>.loads ファイルを URL で指定します。<file name>.zip ファイルには他のファイルが含まれています。

制限事項

ネットワーク輻輳時の電話の動作

ネットワークパフォーマンスの低下の原因となるものは、電話の音声とビデオの品質にも影響を及ぼすため、場合によっては、コールがドロップする可能性があります。ネットワークパフォーマンスの低下は、次のような原因が考えられます。

- 内部ポート スキャンやセキュリティ スキャンなどの管理タスク
- サービス拒否攻撃など、ネットワーク上で発生した攻撃

発信者の識別とその他の電話機の機能

発信者識別またはその他の電話機能が視覚障害または聴覚障害向けのサードパーティ アプリケーションで検証されていません。

注意事項の表示

Cisco Bug Search ツールを使用して警告 (バグ) を検索できます。

既知の警告（バグ）は、重大度レベルに従って採点され、開いているか、または解決されています。

始める前に

警告を表示するには、次の項目が必要です。

- インターネット接続
- Web ブラウザ
- Cisco.com のユーザ ID とパスワード

手順

ステップ 1 次のいずれかの操作を実行します。

- すべての注意事項を検索するには、次の URL を使用してください。
<https://bst.cloudapps.cisco.com/bugsearch/search?kw=&pf=prdNm&pfVal=286311392&sb=anfr&bt=custV>
- すべての未解決の注意事項については、次の URL を使用してください。
<https://bst.cloudapps.cisco.com/bugsearch/search?kw=&pf=prdNm&pfVal=286311392&sb=anfr&sts=open&bt=custV>
- すべての解決済みの警告を検索するには、次の URL を使用します。
<https://bst.cloudapps.cisco.com/bugsearch/search?kw=&pf=prdNm&pfVal=286311392&sb=anfr&sts=fd&bt=custV>

ステップ 2 プロンプトが表示されたら、Cisco.com ユーザ ID とパスワードを使用してログインします。

ステップ 3 （任意）特定の注意事項の情報を検索するには、[検索（Search for）] フィールドにバグ ID 番号（CSCxxxxxxx）を入力して [入力（Enter）] を押します。

未解決の不具合

次のリストには、ファームウェアリリース 11.2(3)SR1 を使用した Cisco IP Phone 8800 シリーズ マルチプラットフォーム電話機の未解決の重大度 1、2、および 3 の欠陥が記載されています。

このリストには、このレポートのコンパイル時に未解決であった警告のスナップショットが反映されます。警告のステータスは、その後に変更されている場合があります。未解決の警告の更新されたビュー、または特定の注意事項の詳細または履歴を表示するには、[注意事項の表示（4 ページ）](#) の説明に従ってバグ検索ツールキットにアクセスします。この情報にアクセスするには、Cisco.com ユーザを登録する必要があります。

- CSCvo46210 マルチプラットフォームフォンには 25 個の BLF エントリしかありません。
- CSCvo88578 コール転送をオンにすると、LCD のラジオ局の表示名が選択した回線のユーザ id に変更されます。

解決済みの不具合 (p.11)

次のリストには、ファームウェアリリース 11.2(3)SR1 を使用したCisco IP Phone 8800 シリーズ マルチプラットフォーム電話機の解決済の重大度1、2、および3の欠陥が記載されています。

このリストには、このレポートのコンパイル時に解決済の警告のスナップショットが反映されます。警告のステータスは、その後に変更されている場合があります。解決済の警告の更新されたビュー、または特定の注意事項の詳細または履歴を表示するには、[注意事項の表示 \(4 ページ\)](#) の説明に従ってバグ検索ツールキットにアクセスします。この情報にアクセスするには、Cisco.com ユーザを登録する必要があります。

- CSCvo62040 TR 069 デフォルトは [はい (Yes)] です。
- CSCvo43984 CP-8851-3PCC、TR-069 の問題
- CSCvo47648 CP-8841-3PCC//11.2.3 FW は会議からの音声を受信しません

Cisco IP Phone ファームウェアのサポート ポリシー

電話機のサポート ポリシーについては、<https://cisco.com/go/phonefirmwaresupport> を参照してください。

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The following information is for FCC compliance of Class A devices: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio-frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case users will be required to correct the interference at their own expense.

The following information is for FCC compliance of Class B devices: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If the equipment causes interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, users are encouraged to try to correct the interference by using one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Modifications to this product not authorized by Cisco could void the FCC approval and negate your authority to operate the product.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at www.cisco.com/go/offices.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: www.cisco.com/go/trademarks. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2019 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.